

平成18年8月発行

湯沢砂防事務所は女性モニターの皆さんと一緒に、より良い砂防について考えています。

7月21日金曜日、今年度の女性モニター第1回見学会を行いました。今回は魚野川上流にある万 太郎谷の砂防施設や工事現場を見学しました。

< 位置図 >



プログラム****

湯沢砂防事務所出発 9:40

9:50 越後湯沢駅到着者 乗車・出発

万太郎谷砂防えん堤の見学 10:10

10:30 万太郎谷第4号砂防えん堤 工事現場の見学

10:50 現地出発

事務所着、休憩 11:20

意見交換会 11:30

12:10 頃 終了・解散

* * * * * * * * * * * * * * * *



今回の女性モニター見学会には、12 名の モニターさんに参加して頂きました。

万太郎谷について

万太郎谷は、魚野川上流域の三大支川(毛渡沢、万太郎谷、蓬沢)の1つであり、流域面積 11.05km²、 流路延長 4.88km、流路勾配約 1/5.3 の急流河川です。

万太郎谷の下流の蓬沢との合流点は、関越自動車道の新潟県側トンネルの入り口にあたり、関越自動 車道はそこから魚野川に沿って走っています。また、魚野川の流域はリゾート地などとして地域開発が 進んでおり、重要な保全対象が多くあります。

万太郎谷砂防えん堤



万太郎谷砂防えん堤(全景)

万太郎谷の一番下流側に位置しています。昭和 63 年に完成した重力式砂防えん堤で、高速道路やパーキングエリアを守る役目も負っています。

今回は、バスの中より見学して頂きました。

構造形式:重力式砂防えん堤

諸元:本えん堤 高さ11.0m、長さ96.0m

万太郎谷第4号砂防えん堤



現在工事中の万太郎谷第 4 号砂防えん堤を見学しました。万太郎谷の最上流に位置するえん堤です。現在は基礎部分の掘削を行っており、平成 19 年には、中央部に 4 本のスリットがあるコンクリートスリット砂防えん堤が完成する予定です。

万太郎谷第4号砂防えん堤予定地(全景)



万太郎谷第4号砂防えん堤 完成予定図

構造形式:コンクリートスリット砂防えん堤 諸元:本えん堤 高さ:14.5m、長さ:125.0m

副えん堤 高さ:5.0m、長さ:68.0m



現在、砂防えん堤の基礎部分の土砂を掘削しています。



小柳建設監督官から砂防えん堤の構造形式と施工順序について説明しました。

現地での質問から

モニターさん)砂防えん堤をつくるとき、どう やって数や設置場所を決めるの?

湯沢砂防) まず、流域からどれだけの土砂が 出るか調査をします。そして、調 節しなければいけない土砂量(下 流へ流れ出ては困る量)を計算し、 砂防えん堤の数を決めます。

> 設置場所については、土砂の出 方などを見ながら、重要な場所か ら設置していきます。



モニターさんからは質問が次々と寄せられま した。

モニターさん)工事によって伐採された木はどうするの?

湯沢砂防) ここでは、チップに加工し下流の土樽自然公園に肥料として敷き詰めています。また、 チップの有効利用ということで、他の公共事業でも活用されています。

モニターさん)なぜスリット型にするの?

湯沢砂防) スリットにすると、魚や生物が通ることができ、土砂を流すので下流の河床低下や、 海岸がどんどん削れることも少なくなるため、現在ではなるべくスリット型にしていま す。

> ただし、以前からあるクローズ式砂防えん堤にすると、せき止めた土砂で両側の山す そを押さえて山くずれを防ぐという効果もあるので、その場所に合わせて使い分けをし ています。

モニターさん)副堤にはスリットがないけれど魚道はないの?

湯沢砂防) 副堤の先には魚道を作る予定です。今はイワナとヤマメが対象で、予定では、全部を 段々になるよう石を配置し、どこからでも魚が上れるような形にします。

意見交換会

今年度の女性モニターの活動計画について、意見を伺いました。その中で、女性モニターの見学会・ 意見交換会等の年間スケジュールを決めました。次回以降は8月下旬、10月下旬、12月を予定していま す。





アンケートでいただいた疑問から

- Q:第1号からとても年月が経っているので、今頃4号をなぜ建設されたのか、それが疑問に思いました。
- A:万太郎谷砂防えん堤は、万太郎谷の中で重要な施設と位置づけて早い段階で施工を行いました。その後は、優先順位にしたがって整備を進めています。
- Q:海の砂浜がなくなったり予算も半減したのなら、計画を見直し優先順位を考えた方が良いと思う。
- A:予算の限られている中で、必要性や緊急性を考えながら優先順位を決めて整備を進めています。優先順位については、災害の発生状況や社会情勢の変化に応じて見直しもしています。
- Q:今あるえん堤の3分の2に魚道がないという事は、新しいえん堤にだけ魚道があっても、その下になければ魚は登れないのでは?
- A:新しい砂防えん堤には魚道を整備していますが、古い砂防えん堤にはまだ魚道が整備されていないものもあります。魚道の整備にあたっては、川や流域全体を通じて魚が上流に上れるように整備を進めているところです。
- Q:えん堤を作るには木を切り倒すこともある程度は仕方のないことだが、少し矛盾を感じました。
- A:えん堤を建設する時は、必要な範囲の木を切りますがなるべく必要最小限で済ませるなど、自然環境に 配慮しながら進めています。また、砂防えん堤が完成したら木が回復しやすいように配慮もしています。
- Q:川を整備することで、地域が守られているのがわかりますが、果たしてどのくらいの人がその恩恵を感じるのだろうと思いました。山の中の工事で、長期間やっているので地元を含め工事の意義を理解されにくいと思いました。
- A:下流に住む人たちに関心を持っていただくためにさまざまな取り組みをしています。魚沼自然塾などのイベントや女性モニター、ホームページなどで情報発信に努めています。しかし、おっしゃるようになかなか理解されにくいのが現状です。このことについても、女性モニターの方々と意見交換をさせて頂きたいと考えています。

アンケートでいただいた感想から

- ・ いつもは穏やかな水の流れの見学でしたが、今回は大雨の最中での見学会でした。魚道の迫力等々で、水の力のすごさを改めて思い知らされました。(南魚沼市/女性)
- ・本当にはずかしい話ですが、えん堤という呼び名さえ知りませんでした。今回現場を見せてもらって大事な役割を持っているんだという事と、働く皆さんの大変さを感じました。(ヘルメットも生まれて初めてかぶったという具合です。)(南魚沼市/女性)
- ・ 河川の上流に行く程、ここで災害を食い止められたらいいとの思いは大きいが、その分工事には危険もあり、大変だと思いました。(十日町市/女性)
- ・ 最も身近で愛すべき魚野川の最上流砂防えん堤を見学できた事はとても幸せな気分でした。(南魚沼市/女性)
- ・ 建設途中の現場を見れば、完成された姿も見てみたいと思います。(南魚沼市/女性)

湯沢砂防より

今年度の女性モニターは、新しく6名のメンバーを迎えることができました。現地見学会や意見交換会等の活動の中で、忌憚のないご意見をたくさんいただき、より良い砂防について考えていきたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先:国土交通省 湯沢砂防事務所 調査課 TEL:025-784-2073 FAX:025-784-2073

〒949-6102 南魚沼郡湯沢町大字神立 23 ホームページ: http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/